


講義・講演・工場見学等実施報告書

大学改革推進事業（COC+）

| | | |
|---|--|---|
| 食と観光で世界を魅了する「かごしま」の地元定着促進プログラム | | |
| 実施日時 | 令和元年 7月 17日（水） 14:40 ～ 15:40 | |
| 実施場所 | 鹿児島工業高等専門学校 機械工学科4年教室 | |
| 実施形態 | ① 講義・講演 | |
| 対象学生 | 機械工学科 4年 39名 | |
| 担当者 | 鹿児島高専 | |
| | <table border="1"> <tr> <td> 機械工学科 准教授 椎 保幸 電子制御工学科 准教授 吉満 真一 </td> <td> 企業・団体等 所属：株式会社トヨタ車体研究所 経営管理部 総務人事室 氏名： 永重 一博 氏 </td> </tr> </table> | 機械工学科 准教授 椎 保幸 電子制御工学科 准教授 吉満 真一 |
| 機械工学科 准教授 椎 保幸 電子制御工学科 准教授 吉満 真一 | 企業・団体等 所属：株式会社トヨタ車体研究所 経営管理部 総務人事室 氏名： 永重 一博 氏 | |
| 実施内容 | <p>機械工学科4年生に向けて、(株)トヨタ車体研究所の永重様より、COC+地方創生特別講義を行って頂いた。</p> <p>まず、トヨタ車体研究所の概要についてご説明頂き、同社と鹿児島高専の繋がりを含め、自動車産業の最近の動向についても教えて頂いた。</p> <p>次に、トヨタの生産方式について、その中核である「ジャストインタイム」と「自働化」の話題に移り、話を聞くよりまずは実践ということで、グループワークを行った。1組2、3名でグループ分けをし、各組一つずつレゴブロックのミニカーを用いて実習を行った。実習のテーマは組立時間の短縮で、いかにして組立時間を短縮するかが実感できる内容であった。その後、再びスライドの説明に戻り、あらためてトヨタ生産方式をご説明頂いたが、単に話を聞くだけよりも格段に学生の理解は深まっていたように見受けられた。</p> | |
| |  | |